



## 読者の声

読者の皆様から寄せられた  
「水とともに 2022・春号」へ  
ご意見・ご感想を紹介します

SDGsという言葉はよく耳にするようになったが、「水」はSDGsのあらゆる問題にかかわるキーワードであり、水問題は世界を変える17目標それぞれの解決に貢献できる課題であることを、気付くことができ、「水」への興味と思いが一層増した!

(特集 自ら考えるSDGs) (60代・男性)

地理的に遠い存在であった筑後川のもたらす恵みを知り、それを支える職員の皆様のインタビューで親近感を感じ、ぐっと近い存在に感じられるようになった。

(水の郷めぐり) (60代・男性)

当時の石巻や仙台藩の発展を、北上川改修という大規模な土木工事の視点から説明しているところに興味を持ちました。

(連載 江戸期の水の技術者群像) (20代・男性)

玉川上水の歴史から最新のSDGsの課題、自然災害について等、幅広く充実した内容で、とても興味深く、また楽しく勉強させていただきました。(40代・女性)

現場にいる方による説明は一番の説得力になりますし、携わっている業務についてもわかりやすい内容になっていると思います。また職場の雰囲気も伝わってきて面白いです。(20代・男性)

## 主な 本号の ご紹介施設

**P20 滋賀県：琵琶湖開発総合管理所**  
水機構ニュース

**P19 栃木県：思川開発建設所**  
水機構ニュース

## 編集 後記

4月から新しく編集担当になりました。よろしくお願いします。  
さて、今年度、水資源機構は前身の水資源開発公団から60年を迎えました。「水とともに」の記事でも本号の60年記念対談を含め、様々な企画を次号以降も予定しておりますので、お楽しみに!!  
ちなみに、表紙の60のロゴは機構施設の写真をピックアップしています。どの施設の写真を選んだかすべて分かった人は機構マスターです。